

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

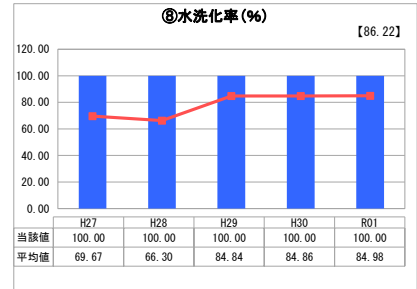
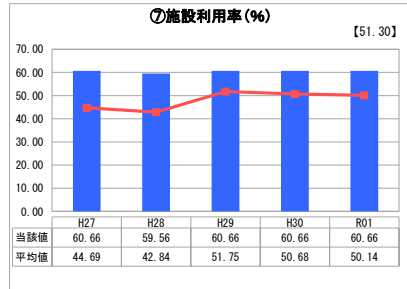
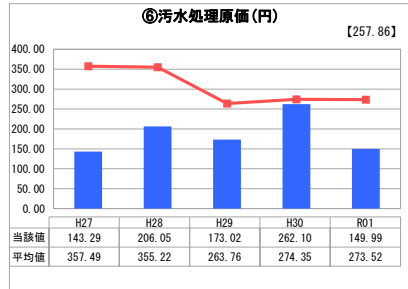
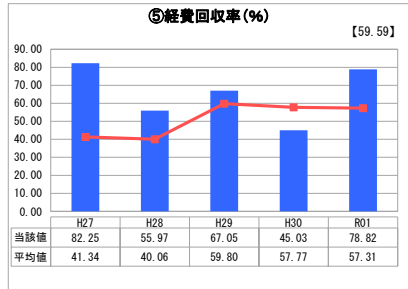
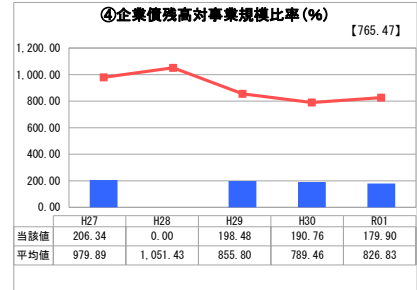
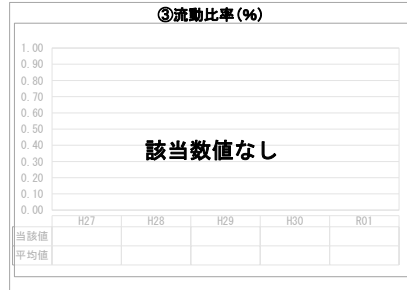
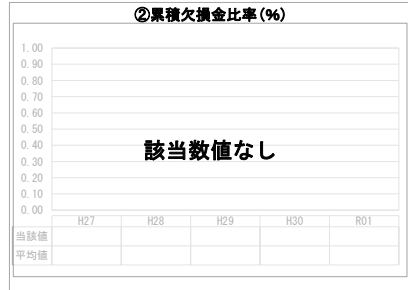
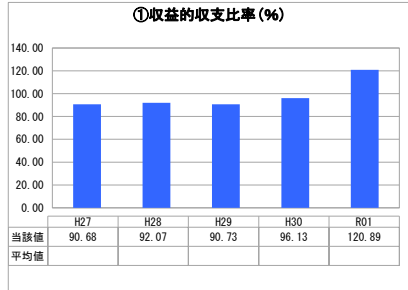
沖縄県 竹富町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	11.54	100.00	1,914

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
4,342	334.40	12.98
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
489	0.50	978.00

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、前年度において他会計繰入金の収益的にのみなしていた額の中に資本的額に該当する部分があり、向上したがこれからは経営改善に向けた取り組みが必要である。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値より起債残高で少額であるが、今後は処理施設等の更新時期を迎える為、今後は増加傾向にある。

⑤経費回収率は、前年度より増加している。だが、類似団体平均値と比べると低い回収率である為、前年度同様適正な使用料収入の確保及び料金の改定見直しが必要である。

⑥汚水処理減価は、類似団体平均値よりも高く今後修繕費や委託料の削減について検討実施していく必要がある。

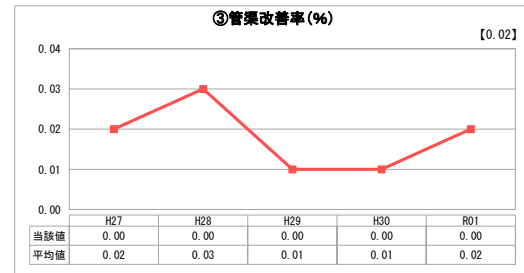
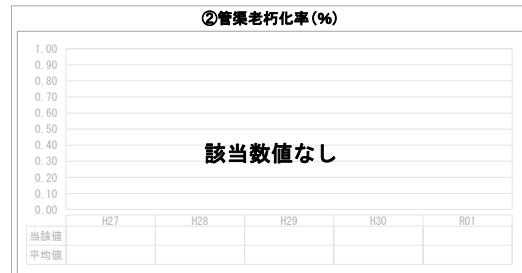
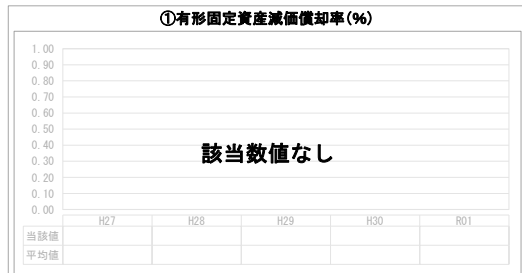
⑦施設利用率は、類似団体平均値より高い数値で推移している為適切な施設規模であると考えられる。

⑧水洗化率は、100%であり、適切な汚水処理が行われていると考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、更新時期を迎えていないこともあり、0%で推移している為類似団体平均値よりも低い数値である。今後の改築更新にむけて、事業計画や財源の確保が必要である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

収入は、今後の公営企業会計移行業務にむけて、適切な料金改定及び料金回収率の向上などがあげられる。支出は下水道台帳を整備し、現状維持ではなく持続的な施設を求め、維持管理費も同様削減できる方法を考えて行い今後運営していく必要があり、また管渠・施設共に適切な事業計画の策定が求められる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。